

梅若会定式能

能 草子洗

替装束
紀貫之

小野小町 角当 直隆
山中 遼晶

官女

壬生忠岑 小田切亮磨
井上須美子

河内躬恒

山崎 友正
角当 美織

帝



能野
守

梅若長左衛門

黒頭
天地之声



令和六年三月十七日（日）
午後一時開演（正午開場）

梅若能楽学院会館
自由席 七、〇〇〇円



<https://umewaka.org>



<JR線>

- ・総武線・東中野駅西口 徒歩8分

<地下鉄>

- ・大江戸線 東中野駅 A3出口
- ・大江戸線 中野坂上駅 A2・2出口
- ・丸の内線 中野坂上駅 A2・2出口
いずれも徒歩8分

<バス>

- ①関東バス（宿05：中野駅経由）
新宿西口→西方行 宮下交差点下車
- ②関東バス（宿05：中野駅経由）
西方→新宿西口行 東中野2丁目下車
- ③京王バス（渋64：中野坂上経由）
渋谷→中野駅南口行 宮下交差点下車
- ④京王バス（渋64：中野坂上経由）
中野南口→渋谷行 東中野2丁目下車

* 当会館は駐車場はございません。
ご来場の際は電車、バス等をご利用下さい。

東京都中野区東中野2-6-14
(公財)梅若会
(梅若能楽学院会館)
TEL: 03-3363-7748
FAX: 03-3363-7749

【野守】（のもり）羽黒山の山伏が葛城山に参る途中、春日野の池のほとりで野守の老人と出会う。この池は野守の鏡と呼ばれているが本当の野守の鏡は鬼神の持つ鏡のことだと老人は語る。そして鬼神の持つ本当の野守の鏡が見たいと言う山伏に、老人は池の水鏡を見なさいと言い残し姿を消す。夜になり山伏が野守の鏡を見せてもらえるよう祈願をすると、銀色の鏡を手にした鬼神が現れる。鬼神は手にした鏡に東西南北・四方八方、さらに天上・地下、地獄道を映し出す。

「草子洗」（そうしあらい）宮中での御歌合で、大伴黒主の相手は有名な小野小町と決まつた。苦しい立場となつた黒主は供を連れて小町の私邸へ忍び込み、小町の吟ずる歌を盗み聞きする。黒主は盗み聞きした歌を『万葉集』に書き加え、小町の歌を古歌のように偽装する。御歌合の当日、帝の御前には、小町、黒主、他に紀貫之等が並び御歌合が始まる。小町の順番となり歌が読み上げられると、小町の歌は帝が絶賛するが、その時黒主が『万葉集』を持ち出して小町の歌は古歌だと訴える。宮中は騒然となり、無実の罪をさせられた小町は窮地に立たされる。そこで小町は帝よりその草子を洗う勅許を得て、草子を洗い始める。すると黒主が入れ筆した小町の歌の墨が流れ消えてしまう。面目を失つた黒主は自害しようとするが、帝の勅諭によつてその罪を許され小町、黒主の二人は和解する。そしてまた帝の命により、小町は遺恨無き証に舞を舞う。

【観能チケットとお願い】

- ◆自由席 7,000円・贊助会員券 48,000円(8枚綴り券)・正面指定料別途1,000円(指定のご希望は公演1週間前までお申し込み下さい)
 - ◆チケットは梅若会HPからメールまたは電話、ファックスにて郵便番号、ご住所、お名前、ご連絡先電話番号、ご希望席種をお書きの上
お申し込み下さい。(https://umewaka.org/ TEL 03-3363-7748 (不定休)・FAX 03-3363-7749)
 - ◆都合により出演者、曲目に変更がある場合がございます。
 - ◆当日のクローケ(荷物お預かり)は閉鎖させて頂きます。
 - ◆梅若会の感染予防対策の取り組み内容
当能楽堂内は株式会社松美家様のご協力により、光触媒(抗菌)コーティング加工済ですので安心してご観覧下さい。
 - ◆観能に際してのお願い
入館時における検温・消毒、個人情報の提出にご協力下さい。他のお客様へのご配慮として、マスク等の着用をお願い致します
また、お客様ご自身による健康管理をよろしくお願い申し上げます。
 - ※個人情報はチケット裏面にご記入頂きます。

